

平成29年4月4日開催の部長会議の報告をします。

## 部長会議報告書

平成29年4月4日(火)

3階第2会議室9:15～

### 1. 市長訓示

- ・今回の人事異動によって、新たに3名が部長級に昇格した。それぞれ気持ちを新たに全力で職務に取り組んでいただきたい。
- ・今回の人事異動は、緊急事態への対処や11の重点プロジェクトに関する政策及び立案について、部長及び理事を指揮監督する統括監を配置した。また、縦割りをなくし、部局間の連携・協力体制の強化を図ることを目的として、各部の主管課に政策立案・財政・人事の調整役として政策監を配置することとした。
- ・災害や危機管理、重要なまちづくり施策に対応するため、市長直轄組織として防災・危機管理課及びまちづくり推進課を設置した。
- ・組織では、働き方自体の見直しを行い、職員のワークライフバランスを進める課内室として、政策経営課に働き方改革推進室を設置した。
- ・また、駅西区画整理事業や駅周辺整備事業を促進するため、桑名駅周辺整備事務所を1課3係から2課4係に組織強化を行った。
- ・全体としては、組織再編を行うことで、4課11係減とし、スリム化を図った。
- ・これから、部局横断的な取組みを進めることになる。この意義をしっかりと捉え、今後の協力をお願いしたい。
  
- ・部長は、部という大きなチームを束ねるリーダーであり、マネージャーである。組織の活性化は、皆さんのマネジメント力とリーダーシップにかかっている。幹部職員としての自覚を持ち、部下の規範となり、部下とのコミュニケーションも十分に取りながら、職場の全員が仕事のしやすい環境づくりに努めてほしい。
- ・このことが、チームとしての力を高め、組織としての仕事のレベルアップになると期待している。
- ・職員の積極的なチャレンジを受けとめることができる職場であるよう、部長以下の管理職員が率先して見本を見せてもらいたい。
- ・働き方改革は、喫緊の課題であるので、部下がワークライフバランスをしっかりとれるよう、みなさんもしっかりとワークライフバランスを図ってもらいたい。長時間労働をなくしていきけるように頑張ってもらいたい。
  
- ・新年度は、2期目のスタートの年である。
- ・11の重点プロジェクトをしっかりと前に進め、形にするようお願いしたい。

- ・「選ばれるまち桑名」を実現するためにも、「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」位置付けた様々な施策に取り組んでいく。
- ・将来の桑名のために優先的に進める事業について、適切な投資をし、まちの将来を磨き上げていくため、スピード感を持って着実に実行していく。
- ・今年度予算については、限られた財源を有効に活用するため、歳出全体のあらゆる経費について徹底した見直しを行い、一方で、将来を見据え投資すべきところには重点的に予算配分するといった、施策の優先順位に基づいたメリハリのある予算編成に努めた。
- ・「ネーミングライツ」などの公民連携提案制度や「ふるさと納税」など、歳入確保にもさらに創意工夫を加えながら、持続可能な財政の実現を目指す。
- ・現在の業務に公民連携の考え方をいかに取り入れていけるか、みなさんには、新たな手法を引き続き考えてほしい。
- ・多くの課題はあるが、行政と市民が情報を共有し、信頼関係を築きながらまちづくりを進め、「全員参加型市政」が実現できるようにしたい。
- ・議会との関係が大切になってくる。日頃から議員と積極的にコミュニケーションを取り、良好な関係を構築し、議会にしっかりと説明してほしい。
- ・最後に、良い仕事を行うためには、心と体の健康が第一である。自分自身はもとより、部下の健康管理にも日頃から目を配りながら、幹部職員としての職務を全うしてほしい。

## 2. 副市長訓示

(伊藤副市長)

- ・行財政改革について、三重県のように職員の給与を削るような非常手段を使わずに、31年度予算が作れるように取り組んでいかなければならない。32年度予算は、平常ベースであれば、財政調整基金からの繰入を5億円程度にしたい。
- ・ファシリティマネジメントは、あと数年ということではなく、ずっと続けていかなければならないが、駅周辺事業や下水道は投資であり、違う性質のものである。
- ・水谷副市長との分掌は、2人で完全に分けるということではないが、支障がないようにある程度分けている。縦割りとならないよう努力してほしい。
- ・働き方改革について、担当部署も置いたが、これまで第2次産業が活躍した当時のままで来ていて、非常に遅れている。8時間労働のところを10時間労働すれば、1点何倍か製品ができるという考えは誤っていて、ホワイトカラーの場合、実際は労働生産性が落ちる。桑名市でも、今までどおりの仕事を今までどおりやっていると、生産性は上がらない。労働時間を短くするため、やめるべき事業はやめなければならない。そうしないと、桑名市の働き方のあり方は変わっていかない。
- ・市民目線でもう一度事業を見直してほしい。市民の訪ね先があちこちしないような、職員が職員のための仕事ではなく、市民のための仕事であるという目線を持ってほしい。

(水谷副市長)

- ・自ら変わる部分と変えてはいけない部分を、しっかり分けて取り組んでいく必要がある。
- ・基本的なことではあるが、仕事を進めていく上で、分かりやすい資料の作成に心掛けてほしい。分かりやすい資料であれば、相手にも伝わりやすいし、誤解なく伝わる。

### 3 自己紹介・新年度の抱負について

- ・全ての出席者から、自己紹介と今年度の抱負が述べられた。

### 4 その他

- ・副市長2人体制について（市長公室）

市政の運営上の重要事項については、両副市長が共同して担任する。決裁文書に関しては、当面両副市長の決裁を取り、統括監が所管する部署については、統括監の決裁も取る。

審議会等については、部局ごとに分担を設けた。

決裁とは別に、部局ごと、11の重点プロジェクトごとに、両副市長及び統括監の分担を当面ゆるやかなものとして定めたので、それぞれの指示に従っていただきたい。

→事務を進める都合上、このように分けたので、不都合があれば、随時修正を加えていく。

（伊藤副市長）

- ・平成29年度部長会議 議題・課題等提案予定表（市長公室）

次回の部長会議は、4月17日（月）に各部の目標・抱負を発表していただく予定。資料の提出期限は、4月12日（水）とする。

- ・平成29年度予算の執行について（総務部）

例年、年度当初に、予算執行に関する留意点をお知らせしており、特に複数年度にわたる事業については、債務負担行為、継続費、繰越明許等の予算措置が必要となる場合は、事前に財政課との協議をお願いしたいことと、継続事業について、事業のあり方や実施方法について再考し執行の効率化を図ること、そして、事業の成果を検証し、今後の方向性を定め、次年度の予算編成に反映することに留意していただきたい。

あと、安易な流用を避けていただくようお願いしたい。

→予算の配当について、現在は全額配当されているが、補助金などで、当初に配当された分を安易に補助決定するというものもある。煩雑さはあるが、2分割、3分割して配当することについて、検討はしておいてほしい。（伊藤副市長）

- ・平成29年度監査実施計画について（総務部）

監査委員事務局から監査実施計画が示されているので、各部局においてはそれぞれ対応をお願いしたい。実施対象となる部署には、2カ月前にご連絡する予定である。

- ・使用料改正案の再整理について（総務部）

3月議会において可決に至らなかった使用料の改正については、再度、課題を整理した上で、早々に議会に上程したいと考えている。については、各委員会での発言の整理とその対処策、あと影響を被る関係者、ステークホルダーの状況把握といったポイントで課題の整理をお願いしたい。

- ・今日から新採研修が始まっている。13日までの実質8日間だが、新規採用職員が配置されている部局におかれては、ご協力をお願いしたい。（市長公室）